

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和5年10月～12月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年10～12月)の状況				前期(令和5年10～12月)と比べた 今期(令和5年10～12月)の状況				今期(令和6年1～3月)と比べた 来期(令和5年10～12月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	41.4	34.5	24.1	17.2	60.3	29.3	10.3	50.0	20.7	34.5	44.8	△ 24.1
2 採 算	25.9	55.6	18.5	7.4	33.3	55.6	11.1	22.2	20.0	49.1	30.9	△ 10.9
3 仕 入 単 価	71.4	21.4	7.1	64.3	51.8	44.6	3.6	48.2	41.1	57.1	1.8	39.3
4 従 業 員 数					5.6	85.2	9.3	△ 3.7	13.0	81.5	5.6	7.4
5 資 金 繰 り					15.1	71.7	13.2	1.9	14.8	64.8	20.4	△ 5.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.8	50.9	26.3		-3.5		26.3	61.4		12.3	14.0		1.8

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.8	8.1	9.7	43.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	6.5	11.3	8.1	25.8
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	1.6	3.2	4.8	9.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	1.6	0.0	1.6
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	4.8	6.5	4.8	16.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	22.6	21.0	4.8	48.4	11 需 要 の 停 滞	11.3	14.5	9.7	35.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	1.6	1.6	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	4.8	4.8
6 人 手 不 足	6.5	4.8	8.1	19.4	13 そ の 他	6.5	1.6	1.6	9.7
7 人 件 費 の 増 加	4.8	8.1	8.1	21.0	無 回 答	9.7	19.4	33.9	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

## 《 製 造 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年10～12月)の状況				前期(令和5年10～12月)と比べた 今期(令和5年10～12月)の状況				今期(令和6年1～3月)と比べた 来期(令和5年10～12月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	66.7	22.2	11.1	55.6	88.9	0.0	11.1	77.8	44.4	0.0	55.6	△ 11.1
2 採 算	25.0	62.5	12.5	12.5	37.5	62.5	0.0	37.5	44.4	22.2	33.3	11.1
3 仕 入 単 価	87.5	0.0	12.5	75.0	62.5	25.0	12.5	50.0	37.5	62.5	0.0	37.5
4 従 業 員 数					25.0	62.5	12.5	12.5	25.0	62.5	12.5	12.5
5 資 金 繰 り					25.0	75.0	0.0	25.0	37.5	37.5	25.0	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.1	77.8	11.1		0.0		22.2	77.8		0.0	22.2		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	0.0	0.0	22.2	22.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	33.3	33.3	66.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	11.1	0.0	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	44.4	11.1	11.1	66.7	11 需 要 の 停 滞	11.1	11.1	11.1	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	11.1	11.1	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	11.1	11.1
6 人 手 不 足	22.2	11.1	0.0	33.3	13 そ の 他	11.1	0.0	0.0	11.1
7 人 件 費 の 増 加	11.1	22.2	0.0	33.3	無 回 答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 国内すべてのタイヤメーカーが生産量減
  - ・ 原油高・鉄骨高の影響大
  - ・ 人手不足が深刻
  - ・ イベントの動きがコロナ以前に近い水準になっているが、規模縮小の動きがいられた
- ・ デジタルツールの活用により、効率をよくなり生産性を高めることに重点を置いている。
  - ・ 売上はコロナ前程度に回復しているが、人手不足のため1人1人の負担が大きくなり悩んでいる

## 《建設業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年10～12月）と比べた 今期（令和5年10～12月）の状況				前期（令和5年10～12月）と比べた 今期（令和5年10～12月）の状況				今期（令和6年1～3月）と比べた 来期（令和5年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	37.5	12.5	50.0	△ 12.5	50.0	37.5	12.5	37.5	25.0	50.0	25.0	0.0
2 採算	28.6	42.9	28.6	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0	57.1	14.3	28.6	28.6
3 仕入単価	87.5	12.5	0.0	87.5	37.5	62.5	0.0	37.5	37.5	62.5	0.0	37.5
4 従業員数					0.0	87.5	12.5	△ 12.5	12.5	87.5	0.0	12.5
5 資金繰り					25.0	62.5	12.5	12.5	37.5	50.0	12.5	25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		14.3	57.1	28.6		△ 14.3		28.6	57.1		14.3	14.3		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	37.5	12.5	0.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	12.5	0.0	12.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	12.5	12.5
4 原材料高及び不足	25.0	25.0	0.0	50.0	11 需要の停滞	12.5	12.5	0.0	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	0.0	25.0	25.0	13 その他	12.5	0.0	0.0	12.5
7 人件費の増加	12.5	12.5	25.0	50.0	無回答	0.0	12.5	37.5	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 資材の高騰等により、工事単価が上がり受注に影響が出ている
- ・ 瓦の需要が激減
- ・ 下請けの大工がインボイス登録していない人がほとんど
- ・ コロナ明けで需要が多くなり電線の製造が間に合わず不足している
- ・ 燃料費などの高騰で契約中の個人事業主への支払額が増加
- ・ 今回の能登地震がそうだが、過疎化、小企業の廃業によりインフラ復旧ができない。
- ・ 建築工事で公共工事が集中的に発注され、今後人手不足となり工事単価も上昇し受注・施工等に大きな影響が出ると予想。計画的な受注に努める。

## 《卸 ・ 小 売 業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年10~12月)と比べた 今期(令和5年10~12月)の状況				前期(令和5年10~12月)と比べた 今期(令和5年10~12月)の状況				今期(令和6年1~3月)と比べた 来期(令和5年10~12月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	5.9	47.1	47.1	△ 41.2	64.7	11.8	23.5	41.2	17.6	47.1	35.3	△ 17.6
2 採 算	13.3	46.7	40.0	△ 26.7	40.0	40.0	20.0	20.0	6.7	60.0	33.3	△ 26.7
3 仕 入 単 価	62.5	25.0	12.5	50.0	56.3	43.8	0.0	56.3	56.3	43.8	0.0	56.3
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	93.8	6.3	△ 6.3	12.5	81.3	6.3	6.3
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	73.3	26.7	△ 26.7	0.0	75.0	25.0	△ 25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.8	41.2	47.1		-35.3		11.8	70.6		17.6	-5.9		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	42.1	10.5	5.3	57.9	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	5.3	5.3	0.0	10.5
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	10.5	10.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	5.3	0.0	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	10.5	5.3	10.5	26.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	10.5	21.1	5.3	36.8	11 需 要 の 停 滞	10.5	15.8	10.5	36.8
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	10.5	10.5
6 人 手 不 足	5.3	5.3	10.5	21.1	13 そ の 他	0.0	5.3	5.3	10.5
7 人 件 費 の 増 加	5.3	5.3	5.3	15.8	無 回 答	10.5	21.1	26.3	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 顧客の高齢化が進み新規客獲得が難しい
- ・ 物価高の影響で秋ごろから客単価が落ちている
- ・ エネルギーコストの上昇による経営悪化
- ・ 商品の価格上昇、買い控えで売上が落ちている状態

- ・ 円安により輸入品が高騰し利益を圧迫している
- ・ 仕入れコストの急激な高騰が続き、先が読めない状況
- ・ コロナによる買い控えの影響が根強く残る
- ・ コロナの時よりも物価高騰のお客様の買い控えの方が当店には厳しいかも

- ・ 後継者問題による将来不安

## 《サービス業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年10~12月)と比べた 今期(令和5年10~12月)の状況				前期(令和5年10~12月)と比べた 今期(令和5年10~12月)の状況				今期(令和6年1~3月)と比べた 来期(令和5年10~12月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	16.7	50.0	33.3	△ 16.7
2 採算	25.0	75.0	0.0	25.0	8.3	83.3	8.3	0.0	8.3	66.7	25.0	△ 16.7
3 仕入単価	58.3	41.7	0.0	58.3	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	66.7	8.3	16.7
4 従業員数					0.0	81.8	18.2	△ 18.2	9.1	81.8	9.1	0.0
5 資金繰り					0.0	90.9	9.1	△ 9.1	0.0	81.8	18.2	△ 18.2

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	75.0	8.3		8.3		33.3	58.3		8.3	25.0		8.3

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	14.3	7.1	7.1	28.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	14.3	7.1	7.1	28.6
2 大企業進出による競争激化	7.1	7.1	7.1	21.4	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	7.1	7.1	0.0	14.3
4 原材料高及び不足	14.3	7.1	0.0	21.4	11 需要の停滞	14.3	0.0	7.1	21.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	7.1	0.0	7.1	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	7.1	7.1	14.3	無回答	28.6	50.0	64.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 設備の老朽化が心配
  - ・ 1月・2月は季節的に売上減少
  - ・ お客様は戻りつつあるが、原材料・燃料費高騰により宿泊費の値上げを検討しているが、客離れが心配
  - ・ 他社のネット販売が、小売への影響が大きいのでネット販売をされていないものへ転換を図る
- ・ 物価高騰により購買意識が少なくなった

## 《 飲 食 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年10～12月)の状況				前期(令和5年10～12月)と比べた 今期(令和5年10～12月)の状況				今期(令和6年1～3月)と比べた 来期(令和5年10～12月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	66.7	25.0	8.3	58.3	50.0	50.0	0.0	50.0	8.3	16.7	75.0	△ 66.7
2 採 算	41.7	50.0	8.3	33.3	50.0	50.0	0.0	50.0	8.3	58.3	33.3	△ 25.0
3 仕 入 単 価	75.0	16.7	8.3	66.7	50.0	41.7	8.3	41.7	41.7	58.3	0.0	41.7
4 従 業 員 数	△	△	△	△	9.1	90.9	0.0	9.1	9.1	90.9	0.0	9.1
5 資 金 繰 り	△	△	△	△	36.4	54.5	9.1	27.3	18.2	63.6	18.2	0.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		58.3	16.7	25.0		33.3		41.7	41.7		16.7	25.0		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	8.3	16.7	50.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.3	8.3	8.3	25.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	33.3	41.7	8.3	83.3	11 需 要 の 停 滞	8.3	33.3	16.7	58.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	8.3	0.0	8.3	16.7	13 そ の 他	16.7	0.0	0.0	16.7
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	8.3	8.3	無 回 答	0.0	0.0	33.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 仕入れ価格の上昇
  - ・ 輸入品の価格の高止まり
  - ・ 忘新年会はもちろん、法事・祝なども需要はあまりない
  - ・ 5類以降後は物価高、コロナ疲れ、インフル流行等あり人々はすぐには前のような生活は戻らない
- ・ 物価高騰により子育て世代、住宅ローン世代の客層の動きが鈍い
  - ・ R5に価格を徐々に値上げしたが、ビール等の値上がりから再度価格見直しを検討